



## ボランティア

3月

「ボランティア」の「て」は、つなぎあう人と人の「手」。手を借りたり、貸したりするためのボランティア情報をイメージして名づけました。

## 災害に備える

～外国人の視点から防災を考える～



一般財団法人 杉並区交流協会は、外国人相談などの在住外国人支援をはじめ、杉並区の国内外交流自治体等との交流事業や、国際交流に関するさまざまなイベントを行っています。その取組の一環として、在住外国人が災害時に困らないよう、日常生活にかかる情報周知や、防災マップの翻訳等を、杉並区と連携し進めています。

**【特集】 一般財団法人 杉並区交流協会  
協力：杉並にお住まいの外国籍の皆様**

3面・・・災害ボランティアワークショップ 報告  
未使用タオルの寄附と縫製品作成のお礼  
能登半島地震 街頭募金のお礼  
4面・・・ボランティア・地域活動新年度準備のお知らせ

この情報紙は、区内のボランティアの方々に、宛名シール貼り、封入作業を行っていただき、発行しています。いつもご協力ありがとうございます。

## 【特集企画】

# 災害に備える

## ～外国人の視点から防災を考える～

一般財団法人 杉並区交流協会（以下、交流協会）は、2006年に杉並区が設立した団体で、2021年4月に一般財団法人に移行しました。主に在住外国人の支援や交流、多文化共生社会の相互理解の向上を柱に事業を行っています。多文化共生社会において、人と人との“つながり”、地域と地域の“交流”を育むことを通じて、安心で活力ある杉並の創造を目指して活動しています。

### 杉並区交流協会の活動内容

交流協会では、①在住外国人の支援、②国内外の自治体交流の推進、③多文化共生社会の相互理解の向上を柱に、外国人サポートデスクや日本語教室、国内外の交流自治体との交流や、海外文化セミナー等、様々な事業を行っています。



▲杉並さんぽの中で行った起震車体験

### 外国人に伝える防災と災害時の取組

区内には19,058人の在住外国人がいます(2023年11月現在)。私たち交流協会では、在住外国人が災害時に困らないように、消火器訓練や起震車体験等の防災に関する知識の啓発にも取り組んでいます。これは楽しく杉並を知っていただきながら、日本で起きる災害について知ってもらいたいとの思いから、杉並区防災課と杉並消防署の協力を得て始めました。慣れない国での生活で、なかなか防災について意識する人は少ないと思います。実際に起震車等を体験することで、日本での防災について考えるきっかけの一つになればいいと思います。

他にも、杉並区社会福祉協議会をはじめ、関係機関や団体等と平時から災害ボランティアについてのネットワークを構築し、連携を強めています。発災した際には、外国人に向けた通訳を担う「語学ボランティア協力」の協定を杉並区と結んでいます。また、交流協会では、杉並区防災課作成の防災マップを、英語・中国語・韓国語・タガログ語・ベトナム語・ネパール語の6つの言語に翻訳し、交流協会や区役所で配布するなど、情報発信にも努めています。このような取組を通して、外国人の視点から災害に備えています。

一般財団法人

杉並区交流協会

<https://www.suginami-kouryu.org/index.html>



昨年は関東大震災から100年でした。【特集企画】災害に備えるでは、災害に対する取り組みや工夫をしている団体をご紹介します。読者が災害に備えるヒントとしていただきたいと考えています。今回は特別編～外国人の視点から防災を考える～として、一般財団法人 杉並区交流協会にお話を伺いました。また、杉並区にお住まいの外国籍の方(4名)にも質問させていただきました。

### ここが心配！杉並で台風や大地震が起きたら ～杉並在住の外国人へのインタビュー～

交流協会の取組の一つである「子ども日本語教室」では、外国から日本にきた子どもたちが、ボランティアとともに日本語を学んでいます。その日本語教室に通っている子どもたちの保護者の方4名(中国、ネパール、フィリピン出身)にインタビューをしました。

マークはポイント！



#### Q1. 母国で災害はありますか？



あります！



ネパールは地震と豪雨、中国とフィリピンは地震と台風が多いそうです。

#### Q2. 日本での災害に対して備えはしていますか？



何もしていません。



持ち出しバッグを準備しています。中身は、水・クラッカー・アルミブランケットです。



子どもには机の下にもぐるよう伝えました。子どもの学校に集まるよう決めています。



パスポートや重要書類をすぐ持って出られるよう準備をしています。

#### Q3. 大きな地震が杉並で起きたとしたら、何が心配ですか？



逃げる場所、安全な場所がわかりません。



学校に避難することは知っていますが、学校がない休日に地震が起きたら、避難できなくて困ります。



大規模災害時には、休日や夜間でも震災救援所が設置され避難ができます。



反対に子どもが学校に行っている時に、連絡が取れなくなることが心配です。



テレビがないので、地震や避難の情報がわかるか心配です。スマートフォンに杉並の情報が送られてきたら助かります。



登録すれば、メールで防災情報を受け取れます。(※)。

### 災害時に「外国人だから困ることを減らしていくために

今回、在住外国人から防災についてのお話を聞き、情報周知が課題であることが浮き彫りになりました。交流協会では、必要な方に必要な情報が届くよう、在住外国人との関わりを深めたり、防災マップなどの周知により一層取り組んでいきます。

※杉並区では「防災・防犯情報メール」を英語でも配信しています。

<https://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/kyukyu/shuchi/1030325.html>



## 地域ボランティア活動団体向け 災害ボランティアワークショップ 報告



大規模災害が杉並で発生した時、地域ボランティア活動団体として何ができるでしょうか。個々の力だけでなく、地域の各団体との連携・ネットワークづくりを進めるため、2月17日(土)に災害ボランティアワークショップを開催しました。当日は杉並区内で活動をしている11団体(19名)の皆さんにご参加いただきました。

地震発災後に想定される困りごと(ニーズ)に対して、「団体としてどのような支援ができそうか」「その困りごとを予防し、スムーズな支援を行うために、普段からどのような備えや活動ができるか」について4つのグループに分かれて意見交換を行い、各団体で行えることを書き出していただきました。



▲講師・宮崎賢哉さんの講演



▲杉並災害ボランティアの会(SSV)の皆さんにグループワークを進行していただきました



参加者の皆さんからは、「団体同士、団体と社協など、つながりが重要だと思いました」「いろいろな団体で災害を想定した時の気づきや、取組方法が違うことがわかりました。勉強になりました」「いろいろな団体を知り、つながる機会となりよかったです。」といったご感想をいただきました。今後も活動団体の皆さんと一緒に、平時から災害について連携を意識した取り組みを行っていきます。

### 未使用タオルの寄附と縫製品作成のお礼

「ボラン・て」の紙面でタオル寄附を募集したところ、「鹿島ボランティアネットワーク」様、「モンテローザ労働組合」様をはじめ、多くの方から、400枚を超えるタオルや手ぬぐいをいただきました。



このタオルを使い、福祉施設等で活用いただくための雑巾やお子さんのスタイ(よだれかけ)、足ふき等を、ボランティアグループ「柿の実会」、「小さな場づくり会 布遊びの会・糸」、「椿の会」や有志の方々に縫製していただきました。

皆さんのボランティア活動により地域でのつながりが広がりました。ありがとうございました。

### 能登半島地震 街頭募金のお礼

荻窪タウンセブン駅前広場で、能登半島地震の街頭募金を行いました。

**2月17日(土) ご寄附額 56,815円**

お預かりした募金は、**義援金**(被災者の方へ届ける)として日本赤十字社に、**支援金**(現地で支援活動に取り組む団体へ届ける)として中央共同募金会に分けて、寄附させていただきました。2月17日協力:杉並災害ボランティアの会(SSV)



震災からちょうど2か月の3月1日(金)にも街頭募金を行いました。お預かりした募金は、**義援金**として中央共同募金会に寄附させていただきます。

**3月1日(金) ご寄附額 60,582円**

たくさんのご寄附をありがとうございました

★能登半島地震の支援情報は東京ボランティア・市民活動センターのHPをご覧ください。



ようこそ!

### きずなサロン Vol.12 井草地区

#### ◆子育てきずなサロン

プチ・シュシュ

・活動場所:井草地域区民センター 第4和室 (下井草5-7-22)

・活動日時:毎月第4木曜日9:30~11:30

・活動内容:親子でホッとできる場です。乳幼児の身長・体重測定やお茶もあります。

・協力金:100円

※1月号掲載予定サロンから変更しております。



★「きずなサロン」は地域の方々がふれあい、交流する場です。世代を問わずみんなで集まり、支え合える関係ができることが期待されています。

会場は窓の大きな和室で、親子楽しく過ごせる空間です。遊びに来てください!

きずなサロンについては、杉並区社会福祉協議会 地域支援課 地域福祉推進係へお問い合わせください。TEL:03-5347-1017 ホームページ

<https://sugisyakyo.com/suishin/kizuna.html>



## ボランティア保険のご案内

令和6年度ボランティア保険・行事保険の受付を開始しました。4月1日からの活動は、改めて保険に加入する必要があります。

- パンフレット等配布・加入申込手続き
- 【開始日】 3月1日（金）
- 【場所】 ウェルファーム杉並4階  
杉並ボランティアセンター

※保険料(変更なし)・補償内容(変更あり)  
詳細は下記、東京福祉企画のホームページをご確認ください。

<http://www.tokyo-fk.com/> **東京福祉企画** 検索

※令和5年度の申込書は使用できません。  
※パンフレット等の郵送は対応しておりません。

## 情報通知登録の更新・新規受付

情報紙「ボラン・て」を毎月ご自宅にお送りしております。(送料無料)

令和6年度情報通知登録票にご記入の上、当センター窓口へ持参、または郵送でお送りください。右記二次元コードからも申し込みできます。★ボラン・てはボラセンホームページからもご覧いただけます！



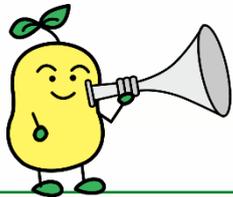
## ボラセンホームページ 動画や特技さんをチェック

当センターホームページにて、動画が見やすくなりました！特技さんの写真や動画も随時更新していきます！ぜひチェックしてください！



動画

## 団体登録の更新・新規受付



- 杉並区内でボランティア活動を行う団体の皆さま！
- 広く地域や市民に社会貢献する活動を行う団体の皆さま！

団体登録をしてボランティアセンターを活用しませんか？

ボランティア活動への参加を促進するためにボランティア団体等の登録を行っています！

令和6年度団体登録票にご記入の上、添付書類を付けて当センターへご提出ください。

※当センターのホームページからも申請が可能です！



### 印刷機の利用

印刷機・大判プリンター(※)等のセンター器材の利用ができます！チラシやイベント時のポスターの印刷などにご活用ください。(予約必須。印刷には費用がかかります。お問合せください。)

※大判プリンターは現在故障中につき、5月を目途に貸出再開予定です。

### チラシの送付

ボラン・て発送時に団体のイベント・講座等のチラシを同封できます！区内の個人や団体、施設への周知にご利用ください！

### ボラセンHPに掲載

「登録団体」としてボラセンHPに掲載！検索機能もあり、団体に興味を持つ方の目に留まりやすくなります。



## 杉並のボランティア情報紙「ボラン・て」

発行：社会福祉法人 杉並区社会福祉協議会  
杉並ボランティアセンター

〒167-0032 杉並区天沼3-19-16 ウェルファーム杉並4階  
TEL: 03-5347-3939 FAX: 03-5347-2063

メール: info@borasen.jp ホームページ: https://borasen.jp/

うえるくん  
杉並社協のイメージキャラクター

開所時間：火～土曜日  
8:30～17:00

\* 祝日・年末年始はお休みです。

